

益田市行財政改革大綱

(平成17年度～21年度)

平成18年3月

益 田 市

はじめに

本市は、これまで三次にわたる行財政改革に積極的に取り組んできました。平成 13 年度には新益田市行財政改革推進大綱を策定し、その基本方針に沿って、行政の見直し並びに財政の建て直しに努めてきました。

平成 16 年 11 月には、地方分権の進む中、最大の行財政改革ともいえるべき美都町・匹見町との合併を行い、新益田市がスタートしました。合併に際し、管理部門の統合・効率化、特別職や職員の削減を進めるなど歳出削減に一定の成果をあげてきました。しかしながら、本市の財政状況は、長期にわたる景気低迷や地価の下落傾向の影響などにより市税収入の伸びには期待できないことに加え、国の「三位一体の改革」による補助金削減や地方交付税削減などにより収入が大幅に減少する一方、歳出面では、社会福祉関連経費が増加するとともに、都市基盤整備事業や生活基盤整備事業に多額の経費が必要となり、非常に厳しい状況に追い込まれています。昨年 12 月には財政非常事態宣言を行い、この厳しい財政状況克服に向けた決意を表明しました。

新市建設計画の理念である「未来にむけ一人ひとりが輝くまち」の実現のためにも、行財政の改革、健全化が急務です。

昨年 9 月に設置した第四次益田市行財政改革審議会の答申を踏まえ、市民の皆さんから意見をいただきながら、益田市行財政改革大綱及び益田市行財政改革推進計画（集中改革プラン）を策定しました。今後は、この大綱に基づき推進計画に沿って第四次の行財政改革を推進します。

平成 18 年 3 月

益田市長 牛尾 郁 夫

1 基本方針

本市の厳しい財政状況を克服するために、歳出構造の抜本的な改革を進めます。

高度情報化、少子高齢化の進展、市民の行政に対するニーズの多様化など社会情勢の変化と、国の三位一体の改革をはじめとする地方分権の一層の推進に対応するために、なお簡素で迅速かつ効率的な行政システムの構築を進めます。

全ての事務事業の検証を行い、行政の担うべき役割の重点化を図り、自治体の行政を地域の戦略本部と位置づけ、地域における多様な主体と協働して公共サービスを提供する仕組みを構築していきます。

また、行財政運営全般にわたって、計画策定（Plan）実施（Do）検証（Check）見直し（Action）のサイクルを確立し不断の見直しを行うとともに、その過程、成果を住民等にわかりやすい形で公表していきます。

2 基本的事項

次の基本的事項を定めます。

- (1) 効率的・自立的な行財政の確立・・・【財政危機回避のための減量政策】
既存の枠組みにとらわれず、組織・機構の見直しや定員・給与の適正化などによる効率的・自立的行政体制の確立を図ります。
- (2) 経営的視点からの行政の質的向上・・・【組織・職員のモチベーションの向上】
成果主義、能力主義、コスト主義を導入し組織・職員のモチベーションを高めるとともに、経営的視点での行政の推進に取り組みます。
- (3) 住民自治の充実や住民の自治体参画意識の向上・・・【政策形成過程への住民参画と自治意識改革】
情報公開を進め、パブリック・コメントなどにより市民の自治体への参画意識を高め、行政と市民との協働によるまちづくりを進めます。

3 重点課題

今後の行財政運営にあたっては、基本方針及び基本的事項に基づき、新たな行財政改革の推進を図るため、これまでの市の行財政改革の経緯と実情を踏まえ、次の9項目を重点課題として改革に取り組みます。

(1) 組織・機構の見直し

従来の縦割り型組織にとらわれず、政策目標に基づき、効果的かつ効率的に事務事業を処理し得る組織をめざし、合併後の本庁・総合支所・地区振興センターのあり方についても検証します。

政策、施策、事務事業のまとまりや地域などに対応した部局、課室編成をするとともに、住民ニーズへの迅速な対応の観点や、スピーディーな意思決定・対応の観点から、個々の職員の責任と権限が明確化され、意思形成過程が簡素化されたフラットな組織編制を検討するとともに、政策、施策、事務事業について、PDCAサイクルをもとに不断に正当性の検証を行うことにより、組織編制も不断に見直しを行います。

(2) 定員管理及び給与の適正化

定員管理については、社会経済情勢の変化等を踏まえ、対応すべき行政需要の範囲、施策の内容及び手法を改めて見直しながら適正化に取り組みます。とりわけ、抜本的な事務事業の整理、組織の合理化、職員の適正配置に努めるとともに、積極的な民間委託等の推進、任期付職員制度の活用、事務処理の電子化の推進、地域協働の取組などを通じて、極力職員数の抑制に取り組みます。

給与については、業務の性格や内容を踏まえつつ、市民の納得と支持が得られるよう、給与制度・運用・水準の適正化を強力に推進します。

(3) 事務事業の見直し

限られた財源の中で、住民の複雑多様化する行政需要や新たな行政課題に的確に対応して行くため、行政効率や行政効果等を十分勘案し施策の選択や重点化を行い、一層の事務事業の整理合理化を図るとともに、行政評価制度の導入についても検討します。

事務事業全般にわたり、民間委託等の推進の観点からの総点検を実施し、様々な手法による委託の可能性を検討します。その中で市場化テストの導入についても検討を進めます。

合併に伴う事務事業調整において、未調整あるいは暫定的な取り扱いとなっている案件については、行財政改革の視点をもって、速やかに調整に努めます。

(4) 自主性・自立性の高い財政運営の確保

自らの財政状況を分析し、事務事業の見直しを行うことにより、歳出全般の効率化と財源配分の重点化を図るとともに、財政健全化のための計画を策定するなど、自主的かつ主体的に財政構造の改善に努めます。

住民等に対し、財政状況が総合的に把握できるような情報を可能な限りわかりやすい方法で提供するよう、歳入歳出の状況や各種の財政指標など

のほか、バランスシートや行政コスト計算書等も含め、積極的な公表を行います。

三位一体の改革における税源移譲や補助金削減の進展、更に税負担の公正確保の必要性等を踏まえ、地方税の徴収率の一層の向上に積極的に取り組みます。また、その他の収入等についても、受益者負担の適正化や滞納額の減額等に努めるなど自主財源の確保に努めます。

市の補助金等については、行政として対応すべき必要性、費用対効果、経費負担のあり方等について検証し、終期の設定やP D C Aサイクルに則った不断の見直しなど、住民等に対する説明責任を果たしながら計画的に廃止・縮減に努めます。

また、公共工事における入札手続の透明性と公平性を確保するため、引き続き入札・契約制度の改善について検討します。

(5) 外郭団体等の見直し

外部の専門家による監査や経営評価を検討するとともに、行政評価の視点も踏まえた点検評価の充実・強化を図り、業務内容や運営方法の改善を進めます。

事業内容、経営状況、公的支援等について、適宜適切な議会への状況報告を行うとともに、住民に対する積極的かつわかりやすい情報公開に努めます。

(6) 人材育成の推進

分権型社会の担い手にふさわしい人材を育成することが重要な課題であり、人材育成に関する基本方針を策定し、人材育成の観点に立った人事管理、職場風土や仕事の推進プロセスの改善等を行うことにより、総合的な人材育成に努めます。

また、公正かつ客観的な人事評価システムの構築導入に向けて検討します。

(7) 行政サービスの向上

職員の接遇の向上を図るとともに、窓口の一元化等を進め、市民の立場に立った行政サービスの提供に努めます。

また、高度情報化社会の進展に伴い、情報セキュリティの確保にも十分留意しながら、行政手続のオンライン化、総合行政ネットワークなどの利活用等に積極的に取り組みます。

(8) 地域協働の推進

地域の課題やニーズに対応するとともに、簡素で効率的な行政を実現する観点から、市民や市民が参加する団体など多様な主体が公共的サービス

の提供を行おうとする取組について、積極的に支援します。

また、活動主体とのより良い協働を推進するため、職員の意識改革や協働のための仕組みづくりを進めます。

(9) 公正の確保と透明性の向上

地方公共団体の自己決定権の拡大に伴い、なお一層、住民等への説明責任を果たし、議会や住民等の監視のもとに公正の確保と透明性の向上を図ります。

4 推進期間

この大綱は、平成17年度から平成21年度までに推進すべき主な項目を示すものとします。

5 推進方法

この大綱に基づく行財政改革の実施にあたっては、推進計画（集中改革プラン）を別に策定し、それに基づき進めます。推進計画では大綱の重点課題ごとに個別の改革項目を掲げ、平成17年度から平成21年度までの5カ年の年次別計画を定めます。

大綱に掲げた重点課題の確実な目標達成に向け、推進計画の総合的かつ組織的な実施を図るため、市長を本部長とする「益田市行財政改革推進本部」の指示のもと、全庁が一体となりスピード感を持って改革に取り組みます。

具体的な計画の実施にあたっては、庁内の部課長で構成する「益田市行財政改革庁内検討会議」において月単位で進行管理を行ない適宜「益田市行財政改革審議会」に報告するとともに、毎年度点検評価を行い、計画期間中であっても必要な見直しを行います。

また、推進計画（集中改革プラン）の実施状況については、市民をはじめ、市議会や関係諸団体等の理解と協力が得られるよう、分かりやすい形で、市議会に報告するとともに、広報、ホームページ等で公表し、市民の声を改革に反映させます。